

動向調査

平成 31 年 4 月～令和元年 6 月期

●調査依頼 5,261 社 ●有効回答企業 1,310 社

信用保証をご利用いただいている皆さまの景況・金融動向を把握するために、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「信用保証利用企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。ここでは東京都内信用保証利用企業の平成 31 年 4 月～令和元年 6 月期の調査結果についてお知らせします。

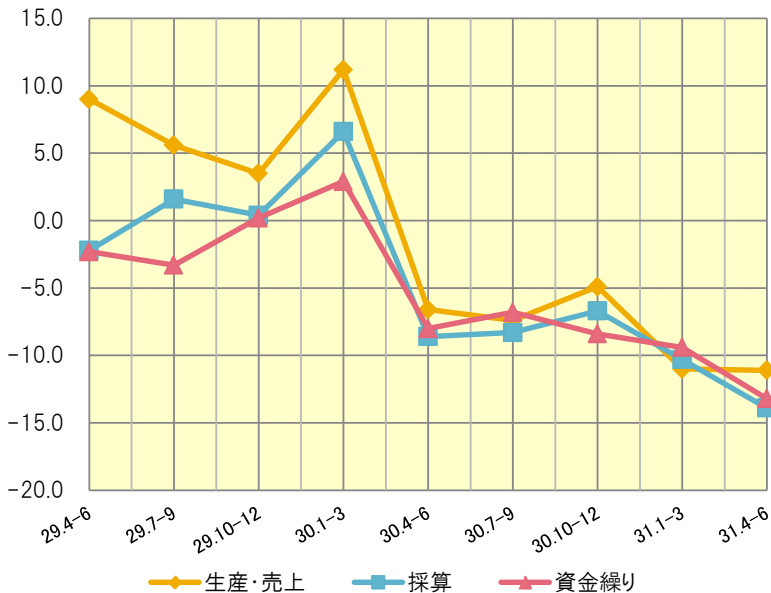
景気動向指数DIとは

景気動向指数DIとは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節調整値」を利用しています。この季節調整値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

[概況]

都内信用保証利用企業の景況感はやや悪化したが、先行きについては持ち直しの見込み。

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



◎総合

今期(平成 31 年 4 月～令和元年 6 月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比-0.1 ポイントの▲11.1、「採算」が前期比-3.6 ポイントの▲13.9、「資金繰り」が前期比-3.8 ポイントの▲13.2となり、「生産・売上」は横ばいとなったものの、「採算」、「資金繰り」はやや悪化した。

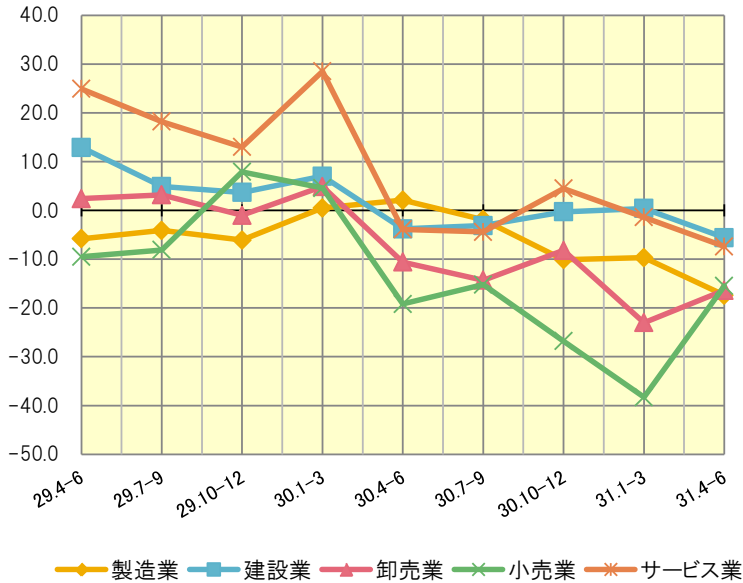
今後 3 か月の予測値(来期予測)は、「採算」「資金繰り」はマイナス値予測となっているが、「生産・売上」は 1.9 とプラス値に転じる予測となっている。

「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測値	3.1	0.2	-6.1
今期実績	-11.1	-13.9	-13.2
来期予測	1.9	-3.1	-9.4

●生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上 DI(総合値)は▲11.1(前期比-0.1ポイント)で、横ばいとなった。

業種別では、全ての業種においてマイナス値となったが、卸売業は前期比+6.6ポイントと改善し、小売業は前期比+22.8ポイントと大幅に改善した。

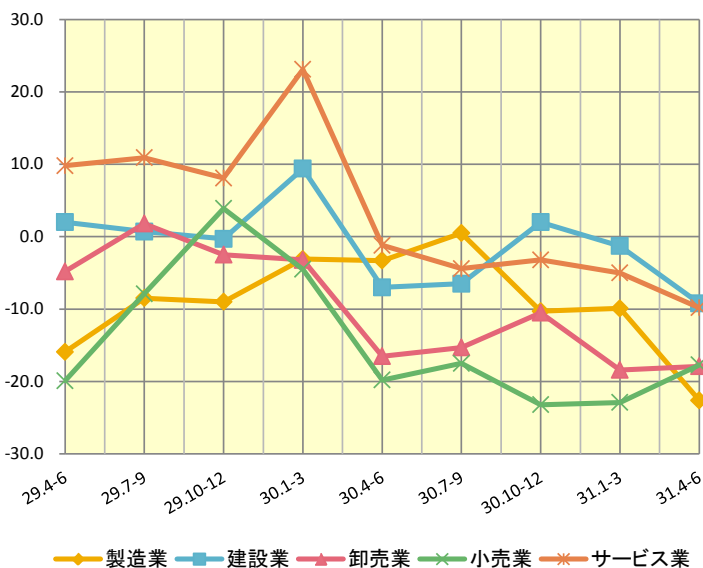
来期は製造業と小売業においてマイナス値予測となっているが、建設業は4.2、卸売業は1.3、サービス業は7.6とプラス値に転じる予測となっている。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	3.5	-0.2	2.6	-6.6	11.0	3.1
今期実績	-17.4	-5.6	-16.4	-15.5	-7.4	-11.1
来期予測	-12.4	4.2	1.3	-3.4	7.6	1.9

●採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算 DI(総合値)は▲13.9(前期比-3.6ポイント)と、やや悪化した。

業種別では、全ての業種においてマイナス値であったが、小売業については前期比+5.2ポイントと改善した。

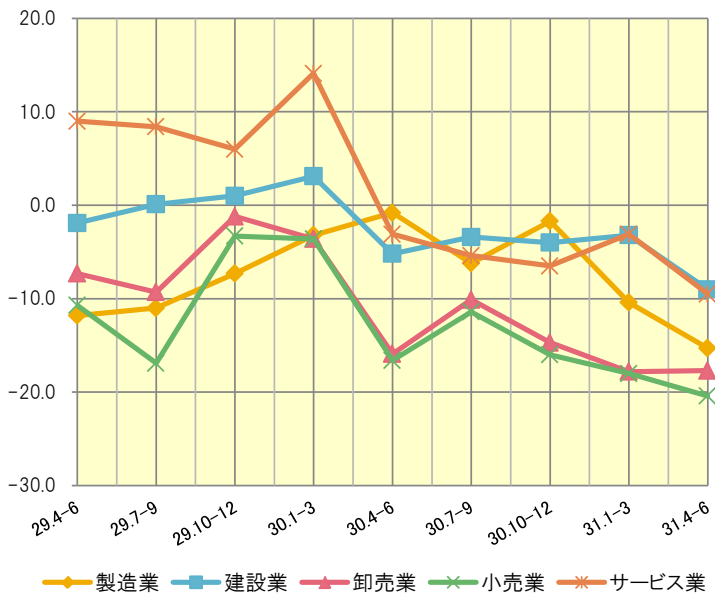
来期は製造業、建設業、卸売業、小売業についてはマイナス値予測となっているが、いずれもマイナス幅は縮小する予測となっており、サービス業についてはプラス値に転じる予測となっている。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-1.2	-1.9	1.9	-9.0	5.0	0.2
今期実績	-22.6	-9.2	-17.9	-17.7	-9.8	-13.9
来期予測	-14.5	-1.9	-5.6	-10.2	4.8	-3.1

●資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰り DI(総合値)は▲13.2(前期比-3.8ポイント)と、やや悪化した。

業種別では、卸売業が前期比+0.1ポイントと横ばいになったが、建設業は前期比-5.8ポイント、サービス業は前期比-6.4ポイントと悪化した。

来期も、全ての業種においてマイナス値予測となっているが、建設業、サービス業についてはマイナス幅の縮小を見込んでいる。

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-6.0	-5.2	-8.4	-12.7	-2.2	-6.1
今期実績	-15.3	-9.0	-17.7	-20.4	-9.5	-13.2
来期予測	-19.3	-3.1	-14.3	-20.1	-2.2	-9.4